

議長（山本 陽一郎君） 次に10番、南部武司議員。

10番（南部 武司君） 9月定例議会では町長の選挙について、安全対策について、道路改良工事についての3つの質問を通告しております。私は熱弁を奮いませんので、明確な答弁をお願いいたします。

来年4月には統一地方選挙が行われます。前回の統一地方選挙では、東員町長選は無投票だったので、余り気にはならなかったのですが、来春は確実に選挙戦となる様相です。この統一地方選挙は2週間の間に県議会議員選挙と町長選挙の2つが行われますが、この選挙をダブル選挙、すなわち同じ日に選挙するということはできないのでしょうか。ダブル選挙とした場合と、それぞれ別に選挙を行った場合、費用はどれくらい違いがあるのでしょうか。また同一選挙にできないのであれば、その理由を伺いたいと思います。

9月1日の新聞で出馬予定者の記事がありましたが、町長の出馬表明はまだである旨の記載がありました。今の気持ちを伺いたいと思います。私は、町長は3期目を目指し、出馬するとのうわさ話を聞きまして、出馬されることを前提に通告書を出しております。もし間違いなければ出馬される決意、意気込みと、2期8年の間にやり残したのは何なのかを伺いたいと思います。

全国的に見ると、30代から40代の比較的若い首長が多くいます。個人の考えには差があり、一概には言えませんが、首長として一番活躍できる年齢は何歳ぐらいだと思われますか。また、町長や議員には定年というものはありませんが、あるとすれば何歳が妥当だと思われますか。私は議員は3期12年、首長は2期8年で、ともに70歳までだと思っておりますが、個人の考えとしての答弁をお願いしたいと思います。

以上、お願いします。

議長（山本 陽一郎君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） 南部議員の町長の選挙についてのご質問にお答えをいたします。

まず、統一地方選挙は、昭和22年4月に、同年5月の日本国憲法施行を前に、首長と議会議員選挙が実施されたことが始まりでございます。それ以来4年ごとに4月に行われておりまして、上旬に都道府県知事や政令指定都市の市長並びに議会議員選挙が、同じく4月下旬に、政令市以外の市町村の首長と議会議員の選挙が行われておりまして、全国の多くの地方公共団体において一斉に改選時期を迎えることとなることから、選挙への関心を高めたり、日程の重複を避けるため、日程を統一的に調整されております。

これは、毎回の統一地方選挙が実施される直前に、選挙期日等の臨時特例に関する法律が施行されて、この法律によりまして選挙日程が統一されたことから、議員

お尋ねの県議会議員選挙と町長選挙を同一の日に行うということは、各市町の判断ではできないところでございますので、ご理解をいただきたく思います。

次に「町長の3期目を目指している」と聞くと、その意気込みとやり残したのは何なのか」ということなんですけど、3期目につきましては現在熟慮中でございます。やり残したというのは、行政でございますので、いろいろございます。もともと安心なまちとか、教育振興のまちとか、元気なまちとか、信頼のまちづくりをやるということなんですけど、2期目の公約は大方のことをさせていただきまして、これからのやり残したことは、いろいろな項目を申し上げますとたくさんあります。けれども私の今の思いは、もう一段上の町民の皆さんの安心・安全のまちづくりをしたいと思っております。

もう1点、町長や議員に定年というものはないが、何歳ぐらいが妥当と考えるかということなんですけど、若ければ若いほうがよろしいですよ。今の政治情勢。できたら40歳前半。今、全国の県の町村会長をさせていただいておりますので、全国に出ていきますと、確かに期の長い方、前会長は10回目です。年は80歳です。山本会長さん、もうかわられましたけど、非常に期の長い方がみえます。全国の町村は。市長は割と短いですよ。市長というのは若い方が多い。町村長というのは、割と年のいった方がたくさんみえます。けどもやはり若ければ若いほうが、私もいいと思います。

といいますのは、やはり3回以上しないと、なかなか全国の町村会等のご意見を言える機会というんですか、まず町村会長にならないと全国へ出ていけない。そして全国である程度の意見を述べようと思うと、3回以上ぐらいにならないと、なかなかチャンスが回ってこないということで、若い方が3回、4回していただかないと、なかなか東員町みたいな小さなまちの意見が通っていかないということから思っております。

定年ということについては、定年はないのでございますので、私は自分の体力と気力とまちづくりの思いがある方であれば、何歳であっても結構だと思います。80歳の方もみえますので、定年というのは、私は設けること自体がおかしい。そんなことを言いますと、ちょっと失礼に当たると思います。私の思いです。そんなことで、どうぞご理解をいただきたく思います。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） ありがとうございます。

町長の2年間の反省とか、そのようなことも後の議員のほうで質問もありますので、そのことについては、私はもうこれ以上触れません。

町長は県議長会の会長に就任されてみえます。この会長職で県や国によく出かけられているように思いますが、東員町の職務に影響はどれくらいあるのでしょうか。

議会の全員協議会開催などでも、町長の日程を気にしなければならなかったように思いますが、どうでしょうか。

また、再選された場合は、当然会長職の任期まで務めると理解してよろしいでしょうか。

以上お願いします。

議長（山本 陽一郎君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えさせていただきます。

東員町ということではございませんので、三重県の町村会の会長ということでございますので、15の町長の要望というんですか、各市町がいろいろ課題もございまして、そういうものを取りまとめて、そして三重県の町村会として、県は国のほうの国会議員等に要望をしておるのが仕事でございます。全国の町村会というのもございまして、その場所でも三重県の町村の課題というんですか、いろいろな思いを上へ上げていく、そんな立場でございますので、東員町の要望も三重県の町村会としての要望で上がっております。そんなことでございますので、どうぞその辺をご理解をいただきたく思います。

以上でございます。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） ありがとうございます。一つ答えが抜けておったんですけども、再選された場合、任期まで務められるのかどうかということですけど、それは当然だと理解します。

先般の参議院選挙から投票所が一部変更となりましたが、この変更の検証というか、そんなものは行っているのでしょうか。また、来春の統一地方選挙に向けての反省点など、あれば伺いたいと思います。

これは担当の課で結構でございますので、よろしく申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 藤井総務部長。

総務部長（藤井 浩二君） お答えを申し上げます。

投票所を統合させていただきまして、各小学校区単位で投票所を設置させていただきました。結果的には神田地区につきましては、今回62.42%の投票率でございまして、全体と比べますと約2%減となっております。

また、第3投票区の南大社、長深、中上につきましても、同じような傾向がございまして、約61.11%の投票率をいただきましたが、ほかと比べまして若干低い状況が出ております。これにつきましては最初ということもありまして、皆さんに大変ご不便をかけたということは重々理解をいたしておりますが、今後積極的にPR等を行いまして、投票率の向上を図ってまいりたいと思っております。

また、ご不便をかけたという点は、駐車場等が大変手狭な状況でございますので、その辺も今後は再考してまいりたいと考えております。

以上でございます。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） ありがとうございます。

自民党は70歳定年制というのをうたっています。今後地方議会でも議論はされていくと思います。私は、そうあってほしいものとも思っております。

次の質問にいきたいと思います。

「秋の夜はつるべ落とし」とも言われるぐらい、すぐに薄暗くなります。そして11月末から12月初めごろは、最も日の入りの時間が早くなります。薄暗い中、自転車のかすかに反射する反射鏡を見て下校する生徒などの自転車に驚くこともあります。また、健康志向の方々が暗い中、ジョギングやウォーキングを行っています。ときには人影を見てドキッとしたこともあります。

夜間の交通事故防止に暗闇でも自ら発光し、ドライバーからも目立つとして、広島県の福山市の100円ショップでLEDライト、発光ダイオードのライトが売れており、このLEDライトを服や自転車につける人が増え、交通事故も減っているという記事がありました。

このライトは長さが7.2センチ、横4.5センチ、厚さ2.8センチで、光は赤色、単三乾電池2本を使い、常時点灯か点滅を選べるものです。議長より許可を得ましたので、ここにライトを持ってきました。これです(南部議員ライトを示す)。ボタンを押しますと、明る過ぎてわかりません。このようにパカパカ光ります。それから常時点灯もあります。このパカパカ光ると常時点灯ですね。それからもう一度押せば消えてしまいます。

100円ですが、乾電池は別売りですので、もう少し高くなります。夜間どれくらい離れた場所から見えるかを実験したところ、800メートル先からLEDの点滅が確認できたとのことでした。これは反射剤の平均100メートルの約8倍だったとのことです。福山市内の自治会では、高齢者や児童に配付したところ好評だったとも書かれておりました。

中学生ではありませんが、いまだに無灯火で走っている自転車を見かけ、びっくりすることがあります。その安全対策の一つとして、小学生や中学生に無料で配付するということを考えてみてはどうでしょうか。また、学校では交通安全教室も開催されていますが、暗くなってからの交通安全対策は行われているのでしょうか。学校での交通安全指導の内容も含め、教育長より答弁を求めたいと思います。

次に、防犯灯について伺います。

通告書では誤って街路灯と記載しましたが、電柱に設置されている防犯灯のことです。防犯灯を新たに設置するには、自治会も電気代全額と工事費を一部負担すると決められましたが、負担するようになってから新たに何基設置されましたか。また私は平成21年12月の一般質問で、防犯灯にLEDランプを使用し、電気代節

減を図ってはと質問いたしましたが、その時の回答では、非常に高価で、今の蛍光灯は安価であり、当分の間は考えていない旨の答弁がありました。導入に消極的な考えは変わっていないのでしょうか。町内にLEDランプの防犯灯が数カ所設置されたと聞きましたが、間違いでしょうか。この場合、中部電力に支払う電気代は1基当たり幾ら安くなっていますか。

以上、この部分については総務部長より答弁を求めたいと思います。

よろしく申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 岡野譲治教育長。

教育長（岡野 譲治君） 南部議員の安全対策についてのご質問にお答えをいたします。

議員からは、児童生徒の登下校等における安全対策についてのご提案をいただきました。ありがとうございます。

まず、登下校時における子どもたちの安全確保につきましては、日ごろから地域の学校安全ボランティアの皆さんに大変お世話になっております。地域の皆様の温かい見守りを得ながら、子どもたちが安心して学校に通うことができていることを、この場をおかりしまして心から厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、今回ご提案をいただきました「LEDライト」についてでございますが、私どもも早々入手いたしまして、実物を確認したところでございます。議員ご指摘のとおり、相手側からの光を反射する「反射板」に比べ、自ら発光する本製品ははるかによく目立ち、他者への注意を促す効果があるものと考えております。

10月以降、下校時刻が早くなるとは申しましても、秋から冬にかけて、子どもたちが下校する時間帯は既に暗くなっていることもございます。とりわけ、中学校では部活動後の帰宅となりますので、こういったライトをランドセルや自転車等に取り付けることによってドライバーへ積極的に注意を促すことは、交通事故防止になるものと考えているところでございます。

最近の自転車の中には、ご承知かとは存じますが、暗くなりますとライトが自動的に点灯し、テールランプが点滅するものがあり、割合まではつかんではおりませんが、東員第一中学校では、そういった自転車が多いということでございます。

また、年に一度、業者による自転車点検を行っているとのことでもあります。しかしながら、長く通学に使用しているうちに、故障したり破損したりという場合もあるかと存じます。

今回、小学生や中学生に配付をしてはどうかとのことではございますが、当面、夜間における交通安全対策につきましては、こういった有効な製品があることの紹介もしながら、交通安全教室等の充実のために、学校のほうとも協議をしてみたいと考えております。そしてまた、皆様方からのご意見をいただきながら、児童

生徒の安全確保に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解賜りますようお願いを申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 藤井浩二総務部長。

総務部長（藤井 浩二君） 南部議員の安全対策、防犯灯についてのご質問にお答えを申し上げます。

昨年、議員から防犯灯のLED照明化についてのご質問をいただき、当分の間は現在の器具で対応し、費用対効果についても検討させていただくとご答弁をさせていただいたところでございますが、LED照明は長寿命・省電力として急速に普及し、また器具もかなり安価となり、一般的な防犯灯として導入できる状況となってまいりました。

本年3月には北大社地内から東員駅に向かう道路に2カ所、北勢中央公園口駅から南大社地内に向かう道路付近に1カ所、LED照明の防犯灯を試験的に設置をさせていただいたところでございます。

1カ所当たりの費用といたしましては、器具代で約1万円ほど高くなりますが、電気代で月額206円が144円と62円安くなっております。

昨年10月から自治会要望の防犯灯新設に関しましては、自治会に一部負担をお願いしておりますが、本年8月末までに2自治会から4カ所の新設要望をいただき、3カ所が完了し、あと1カ所につきましては電力会社へ申請中で、すべてLED照明を採用させていただいております。

今後は新設器具本体の交換につきまして、LED照明を採用させていただき、明るさ、寿命、器具の修繕状況等のデータを収集し、費用対効果等を検討しながら導入を図ってまいりたいと考えております。

よろしくご理解賜りますようお願いを申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） ありがとうございます。

総務部長に伺います。

7月下旬から9月初旬の夕方に、東員町商工会では所有する軽自動車に標語を掲げ、防犯パトロールを行ってまいりました。先般ほぼ完成している三孤子川左岸の道路をパトロールしていましたが、女子高校生が自転車で通行してまいりました。周辺には防犯灯も街路灯もなく暗闇でした。これから高校生の通行も多くなると予想されます、この道路の夜間の安全対策の計画を伺いたいと思います。

また、防犯灯のLEDランプの使用について、以前の答弁で、部長は近隣市町の状況を見ながら云々ということをおっしゃってまいりましたが、東員町が最初にやったのか、あるいは近隣では、どこかもうランプを設置しているのか、それも伺いたいと思います。

以上お願いいたします。

議長（山本 陽一郎君） 藤井総務部長。

総務部長（藤井 浩二君） お答えを申し上げます。

商工会におかれましては、防犯パトロール等をご活躍をいただきまして、この場をおかりいたしまして大変厚くお礼を申し上げます。

ただいまご指摘をいただきました三孤子川付近でございますが、以前から高速道路等の道路改良、また私どもの三孤子川沿いにつけております道路改良に伴いまして、自治会等々検討を行い、防犯灯の必要なところは設置をしてきたところでございますが、まだまだ十分とは言えませんので、今後またご指摘等いただいた箇所に、防犯灯の設置について検討をしてみたいと考えております。

計画等はこれとって持ってございませんが、現場等確認しながら進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

次にLEDの採用状況でございますが、近隣市町においてLEDをつけられたということは具体的に把握はいたしておりませんが、器具等が随分以前、昨年12月ごろでしたか、ご答弁申し上げました時には5万円ほどかかりましたのが、今1万5,000円まで安価になってまいりました。そういうところを考えますと、近隣市町も検討に入ってみえるのかなというふうに考えてはおります。

以上でございます。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） もう1つ、総務部長に伺います。

先ほどお見せしましたこのライトですね、これ、コミュニティ補助の対象と見ていいのでしょうか、どうでしょうか。その点だけ伺います。

議長（山本 陽一郎君） 藤井総務部長。

総務部長（藤井 浩二君） 各自治会でご活用いただいておりますコミュニティ補助金でございます。多くは防犯の関係では、近年自治会では消火器等の購入とかに利用いただいております。私の今の考え方でございますが、自治会全戸で取り組むとか、また小中学校で取り組むというのは、申請をしていただければ当然認めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） ありがとうございます。

3問目の道路改良工事について、質問いたします。

笹尾東入り口交差点から笹尾西入り口交差点までの国道421号線に歩道が新設されると決定し、着工を待ちわびていますが、いまだに何も行われておりません。この歩道工事の着工時期は一体いつになるのでしょうか。現在の状況を伺います。

また、この国道と交差する笹尾西入り口の交差点にはグレーチングの側溝があり、オレンジバスなど、少し大きな自動車は、揺れないよう大きく変則的な曲がり方を

しております。危なく思えるときもあります。側溝の改良工事だけでも先行してできないものでしょうか。国道に歩道ができるまで、何もせず放置するのでしょうか。伺いたいと思います。

なお、この交差点付近に地元地区から要望のあるオレンジバスの（仮称）鳥取・沢バス停留所の設置は不可能なのでしょうか。

次に、この交差点の西側になりますが、以前から2車線化の拡張工事が要望されている県道612号線の多度東員線ですが、桑名信用金庫から鳥取沢交差点までの工事はどうなっているのでしょうか。現況を伺いたいと思います。

笹尾地内では舗装改良工事が順次行われていますが、この施工工事の基準、目安はどうなっているのでしょうか。このような改良工事が必要と思われる道路は、町内にどれくらいあるのでしょうか。

以上、建設部長より答弁を求めたいと思います。よろしくお願いします。

議長（山本 陽一郎君） 水谷史郎建設部長。

建設部長（水谷 史郎君） ただいまいただきました道路改良工事についてのご質問にお答えを申し上げます。

お尋ねの国道421号線の歩道新設工事の着工時期でございますが、年度当初には、用地確保が整い次第着工すると、桑名建設事務所から聞いておりましたが、先般その用地確保も整い、笹尾東入り口交差点からいなべ整形外科クリニックまでの間の両側歩道の設置と、途中にございます田古田川歩道橋の着手、そして笹尾西入り口交差点から東へ南側に歩道設置を、この10月にも着工するというお話が先月の12日に、私どもと用地確保にお力添えをいただきました鳥取及び山田の自治会長に対して、県より説明を受けたところでございます。

次に、笹尾西入り口交差点のグレーチング側溝についてでございますが、ご指摘のように大型車両が交差点を曲がる際に揺れが大きく生じる原因は、側溝より国道の路面が高くなっていることが主な原因だと考えられます。

対応といたしましては側溝の改修、または路面を下げてフラット化にするのが一番いいと思うんですけども、交差点南の歩道が工事が予定されております。これとあわせて対応が図れないか、県へ要望を出してまいりたいというふうに考えておりますので、お願い申し上げます。

次に、笹尾西入り口交差点へのオレンジバスの新たな停留所の設置についてのお尋ねでございますけども、このルートは、笹尾西入り口から国道421号を東へ結ぶルートとなっております。ご承知のように非常に国道は交通量が多くございまして、まして片側1車線というふうな状況の中で、バスの退避スペースが現在取れるかということも、なかなか難しい面もございまして。その中で道路の通行車両やバスをご利用いただく方々の安全確保の上からも、この交差点付近への設置は大変難しいのではないかと考えられるところでございます。



次に、県道多度東員線の桑名信用金庫から鳥取沢の交差点まででございますけども、この道路改良工事の計画でございますが、町といたしましても、毎年、県へ要望を行っているところでございます。現在のところ、県においての道路整備計画はないとのことでございますけども、引き続き強い要望をしまいにしたいというふうに考えておりますので、お力添えをいただきたいと思っております。

次に、舗装工事の基準でございますが、これにつきましては、パトロール等によりまして路面の状況を確認させていただいております。その結果、路面状況が著しく悪い場合や早期にオーバーレイ等を行った場合のコスト軽減等を判断させていただきまして、工事を行っているところでございます。

ご質問の笹尾地内につきましてはバス路線でもございまして、交通量が多いことや経年劣化が著しいことから、計画的な舗装工事に努めさせていただいております。また、このような同様な改良拡張が、どういうふうな形で今現在つかんでいるかというふうなご質問でございますけども、これにつきましては笹尾地内のバス路線でございます。これは今年このような形で施工させていただいております。今後とも来年も引き続き延長改良工事を進めてまいりたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） ありがとうございます。

笹尾西小学校東側の歩道では桜の木を伐採して工事が行われています。一体何の工事なのでしょう。片側車線をふさいだ工事だったのですが、ガードマンの配置もなく、安全対策はどうなっていたのでしょうか。また、歩道に張り出した根を除去する工事ならば、もっと荒れているところもありますが、どうなのでしょう。桜を伐採したが、今度何を植栽するのでしょうか。

以上4点、お願いします。建設部長です。

議長（山本 陽一郎君） 水谷建設部長。

建設部長（水谷 史郎君） 笹尾東小学校東側の歩道の今現在行わせていただいております工事でございます。お尋ねの工事につきましては、歩道の舗装、それから段差の緩和、枯れ木等の処理が主なものでございます。小学校の通学路でもございまして、学校行事のマラソンコースにも利用されております。歩道の状態が非常に悪く、自治会からご要望をいただいて施工をさせていただいております。

安全対策につきましては、工事標識、通行車両等の誘導標識等で一般通行の安全確保は行っているところでございます。街路樹の根によりまして、歩道の舗装が損傷や起伏が著しいという箇所につきましては、これまでも対応を図らせていただいております。今後こういうところにつきましても、順次改修を予定をさせていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

それと伐採した桜の木につきましての後の補植でございますけども、今現在のところは補植はございません。あのような形で歩道の舗装をさせていただきたいというふうに考えておりますので、お願い申し上げます。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） ありがとうございます。

もう少し詳しく安全対策なんですけど、ガードマンの配置がなかったんです。工事の時、桜の木を切っている時に。非常に両方とが突っ込み合いをして危ない時があったんですけど、それを認識してみえるかどうか。そのことだけ、ちょっと伺います。

議長（山本 陽一郎君） 水谷建設部長。

建設部長（水谷 史郎君） ありがとうございます。

ガードマンの設置につきましては、車が1車線で規制する場合には、交通安全対策上必要なガードマンを設置するというふうな形になっております。したがって、工事の積算の中では、一応対応はガードマンの設置というふうなことまでは想定をしておりますけども、危険な今後の工事につきましても、これまでの工事につきましても、バス路線でもございます通行車両が1車線をふさぐ場合には、対応に応じるという形で考えております。

ただ、この場合についてはガードマンの設置を行っていなかった。安全確保は十分に取れるというふうな考えもございまして、このような対応を図らせていただきましたので、今後ケースバイケースで十分対応を図らせていただきますので、お願い申し上げたいと思います。

議長（山本 陽一郎君） 南部議員。

10番（南部 武司君） 町内では各種の団体が防犯パトロールを行っております。また夏休みが終わり、これから薄暗くなっていく帰り道で、小学校、児童の安全のために下校ボランティアの方々も安全パトロールをさせていただいております。これらの安全対策は何も起こらなくて当たり前なのですが、これで十分だということは決してありません。道路にしても同じだと思います。安全という観点からも、一刻も早く計画どおりの工事が着工されますよう、さらに要望して私の一般質問を終わらせていただきます。

ありがとうございます。